

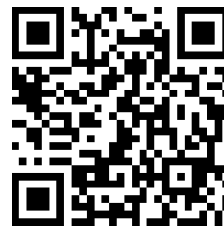
循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業 「よこはまカーボンニュートラル事業創発ワークショップ」を実施します！

横浜市は、2050年までの脱炭素社会の実現を目指しており、市域全体のCO2排出量の約3割を占める家庭部門における取組として、市民生活における脱炭素ライフスタイルの実践に向けた取組と、脱炭素化による市内経済の循環や持続可能な発展に関する取組を併せて行うため、「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」（以下「あいおいニッセイ同和損保」）とともに、「循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業」を実施しています。（別紙1参照）

今般、本事業の一環として、「よこはまカーボンニュートラル事業創発ワークショップ」を実施します。本ワークショップは、4回の連続セッションを通じて、対話と共創により脱炭素ライフスタイルを実現するための事業アイデア創発を目指すもので、参加者を募集します。

ワークショップ概要（別紙2参照）

- 概要**：企業・団体・市民の皆様などの多様な参加者とともに、横浜におけるカーボンフットプリントの概要をデータで知り、移動や食などの分野のトピックスを共有します。その上で、チームに分かれ、将来に普及しているサービスやこれから起こる課題などイメージを膨らませ、事業アイデアをまとめ、発表いただきます。また、今後、事業化に向けた取組支援（普及啓発や実証実験の実施等）を検討していきます。
- 日時**：令和5年10月6日（金）、13日（金）、27日（金）、11月17日（金）
全4回（いずれも15:00～17:30）
- 会場**：セッション1 あいおいニッセイ同和損保横浜ビル8階会議室（中区本町5-48）
セッション2～4 YOXO BOX（よくぞボックス）
（中区尾上町一丁目6番 ICON 関内1階）
- プログラム**：【セッション1】 横浜市の課題を知り、生活者視点で考える
【セッション2】 チームを形成し、事業アイデアを創出する
【セッション3】 事業アイデアを具体化する
【セッション4】 事業アイデアを共有し、お互いに支援し合う
- 募集定員**：30名
※定員に達した場合は抽選とします。
- 対象**：横浜市内で脱炭素ライフスタイルの創出に関心がある企業・団体・市民
※原則全日程に参加できる方に限ります。
- 詳細・申込**：<https://zerocarbon-231006.peatix.com>
- 事務局**：関内イノベーションイニシアティブ株式会社
※取材に関するお問合せは、下記「お問合せ先」までご連絡ください。



お問合せ先

温暖化対策統括本部調整課担当課長 田邊 俊一 TEL 045-671-2477

横浜市とあいおいニッセイ同和損保は、市民一人ひとりが脱炭素ライフスタイルの取組を進められるよう、循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイルの創出・浸透を目的とした事業を実施しています（令和4年度から6年度までの3か年を想定）。

循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業 イメージ図

下記の5項目を実施

1 実証実験の実施

脱炭素ライフスタイルへの変容と脱炭素化に資するサーキュラーエコノミーの構築を目的とした実証実験

2 温室効果ガス削減効果の算出・表示

様々なライフスタイルに係るライフサイクルでの温室効果ガス排出量の算出・表示

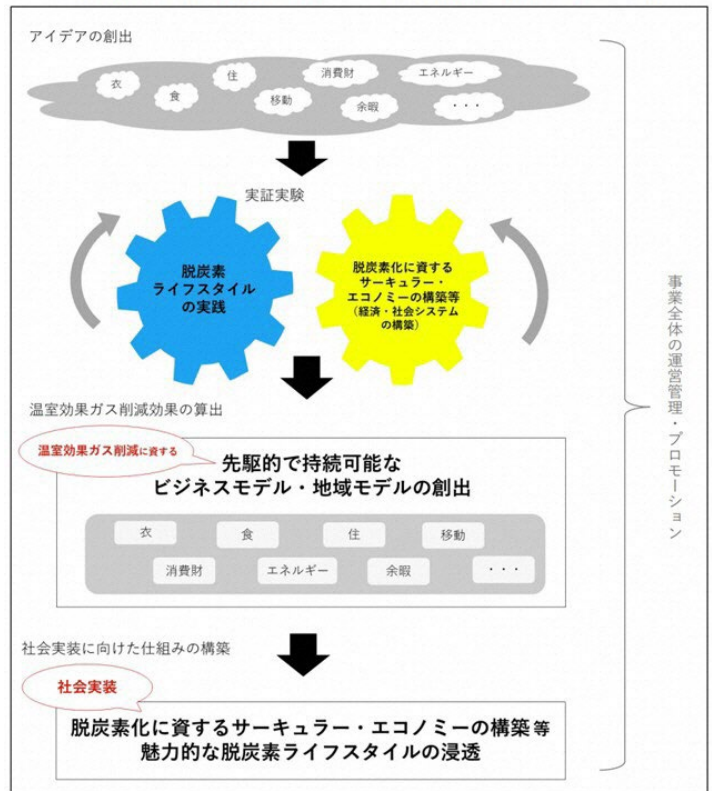
3 ビジネスモデル・地域モデルに係るアイデアの創出

循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイルの先駆的で持続可能なビジネスモデル・地域モデルに係るアイデアに関する、多様な主体と連携した創出

4 社会実装に向けた仕組みの構築

上記ビジネスモデル・地域モデルについて、多くの市民・事業者の参加による普及浸透

5 事業全体の運営管理・プロモーション



あいおいニッセイ同和損保では、令和4年4月からの新たな中期経営計画の核となる考え方に「CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）※1」を掲げ、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決に取り組んでいます。

また、テレマティクス技術※2に関するノウハウを持つ同社では、移動手段による二酸化炭素排出量の削減取組を促進し、脱炭素社会の構築に向けた課題解決手段と付加価値を提供し、お客さまと社会の共通価値を創出し続けることを目指しています。

※1：CSV…Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX…Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

※2：「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載器と移動体通信システムを利用して、さまざまな情報やサービスを提供する仕組み

横浜市をフィールドに活動する企業・団体・市民が集い、
多様な観点から市民の脱炭素ライフスタイルを後押しする事業アイデアを創発します。



MS&AD
あいおいニッセイ同和損保



Yokohama Carbon Neutral
Business Emergence workshop 2023

よこはま カーボンニュートラル 事業創発 ワークショップ

参加費
無料

“カーボンニュートラルな生活”を考えたことはありますか？

自分には遠い話…ではありません。

暮らしを脱炭素化すると、良いこといっぱい。

例えば、ちょっとおトクになったり、快適な生活になったり、
そして笑顔が増えたり。

小さな行動の積み重ねで、変えられることがたくさんあります。

私たちが住む横浜から地球のために、

一人ひとりができることから始めてみませんか？

あなたの一歩で、未来は変わる。

さあ、始めよう！2050年カーボンニュートラルの実現を目指して

日時

2023.10.6_{FRI} / 13_{FRI} / 27_{FRI} / 11.17_{FRI}

全4回・いずれも15:00～17:30

場所

初回 あいおいニッセイ同和損保横浜ビル 8階会議室
横浜市中区本町5-48

2回～4回 YOXOBOX
横浜市中区尾上町1-6 ICON関内ビル

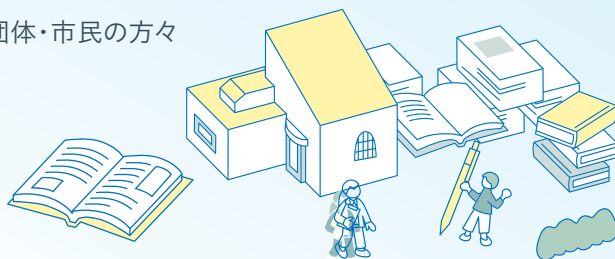
定員 30名程度 ※定員に達した場合は、抽選の上ご連絡いたします。 ※原則すべての日程に参加できる方になります。

対象 横浜市内で脱炭素ライフスタイルの創出に関心がある企業・団体・市民の方々



こちらのQRコードより、ご応募ください。

応募期日：2023年9月29日（金）17時まで



「よこはまカーボンニュートラル事業創発ワークショップ」とは？

横浜市は、2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」を目指しています。

その実現には、市内全体のCO₂排出量の約3割を占める家庭部門での取組として、脱炭素化に資するライフスタイル(脱炭素ライフスタイル)の実践を進め、また、脱炭素化の取組により、市内経済の循環及び持続可能な発展を推進する必要があります。

令和4年度は、脱炭素ライフスタイルダイアログを実施し、エリアや団地のあらたな価値の創出、都市農業やエコといった視点で活動する方々の取組を知り、今後の活動において、大切にしたいポイントや方針を共有しました。

今年度は、「よこはまカーボンニュートラル事業創発ワークショップ」を行います。

4回の連続セッションを通じて、対話と共創により脱炭素ライフスタイルを実現するための事業アイデア創発をめざします。

企業や市民の協働、地域や業界の垣根を超えた共創が進むきっかけとなればと思います。奮ってご参加ください。



ワークショップの進め方

本ワークショップは、まず、企業・団体・市民などさまざまな参加者とともに、横浜におけるカーボンフットプリントの概要をデータで知り、移動・食・エネルギー分野でのトピックスを共有します。その上で、チームに分かれ、将来に普及しているサービスやこれから起こる課題などのイメージを膨らませ、事業アイデアをまとめ、発表していただきます。また今後、事業化に向けた取組支援(普及啓発や実証実験の実施等)を検討していきます。

SESSION 1 10.6 FRI 15:00~17:30



横浜市の課題を知り、生活者視点で考える

インプットと対話を繰り返し、横浜市の課題についての理解を深め、カーボンニュートラルを実現するライフスタイルの障壁について考えます。

SESSION 2 10.13 MON 15:00~17:30



チームを形成し、事業アイデアを創出する

自分ごとで取り組みたい想いを起点にチームを形成し、各チームで取り組みたいアイデアを検討します。

SESSION 3 10.27 MON 15:00~17:30



事業アイデアを具体化する

各チームでアイデアを実現するためのプロトタイプを作成し、ブラッシュアップします。

SESSION 4 11.17 MON 15:00~17:30



事業アイデアを共有し、お互いに支援し合う

各チームの事業アイデアを発表し、相互にフィードバックしあいます。

講師／アドバイザーのご紹介



公益財団法人
地球環境戦略研究機関(IGES)
プログラムディレクター
渡部 厚志氏

10年以上にわたり、気候緩和と適応に関する国際協力プログラムや災害復興プロジェクトに従事。現在は、国内外で、脱炭素型の生活や持続可能な地域の食への転換を市民主導で進めるアクションリサーチを実施している。



事業構想大学院大学
教授
重藤 さわ子氏

英国ニューカッスル大学、農業・食料・農村発展学部にてPhD取得後、一貫して、持続可能な社会への移行に関する多分野横断型の研究開発プログラム・プロジェクトや地域の主体的実践支援に携わる。専門は地域環境経済学。



名古屋大学未来社会創造機構
モビリティ社会研究所 特任准教授
有吉 亮氏

横浜国立大学および名古屋大学で新たなモビリティシステムの研究開発に従事。その成果を活用してスタートアップを起業し、地域モビリティサービスの社会実装支援事業を展開。鎌倉市スマートシティ推進アドバイザーなどを務める。専門は交通計画。



横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 准教授
池島 祥文氏

都市農業での地産地消の可能性を追求するために、農産物の鮮度情報の可視化とその流通範囲の測定や、企業間取引データを活用して地域経済の動向の具体的な解析に取り組む。専門は地域経済学、農業経済学。



東京工業大学
情報通信系 エンジニアリングデザインコース 准教授
中谷 桃子氏

専門はUser Experience (UX)、Service Design、Living Lab。社会課題解決・Well-being向上に資するサービス創出の実践と方法論体系化に取り組む。2003年よりNTT研究所にて人と技術の接点を研究、NTTテクノロクス(株)にて企業のサービス創出を支援。2021年より現職。博士(工学)。

ファシリテーション 株式会社フューチャーセッションズ

協力 公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)